

2019  
4月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第176号-①【基準日 2019年3月29日】



## 🌸 社長メッセージ



### 新年度を迎えて

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。4月になり新年度を迎えましたがいかがお過ごしでしょうか？

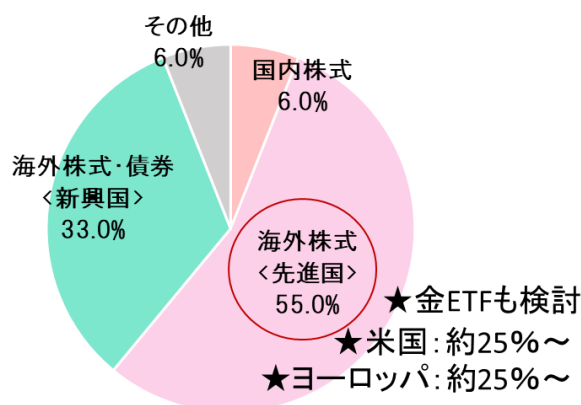
4月は入学、入社などで新入生、新社会人として希望に夢を膨らませて人生の新しい一歩を踏み出す人が多い季節であります。今年4月1日に新元号が発表され、平成が4月で終わり、5月から新しい元号である「令和」がスタートします。新しい時代の幕開けを期待する平成最後の4月になりますが、引き続き皆さまのご期待に応えられるように今年度も役員一同精進して参ります。



さて、先月のマーケットは、相変わらず米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題の進捗に一喜一憂する展開が続きました。世界経済成長率の鈍化や景気減速を示す経済指標が内外で出てくる中、3月下旬には米国の長短金利差がマイナスになる逆イールドが発生したことにより、株価が一時大きく調整する局面もありましたが、月末にかけて上昇して終わりました。景気後退懸念や企業利益の頭打ち感もあり、引き続き短期的には不安定なボラティリティの高いマーケットが続くと考えておりますが、中長期的な世界経済の成長や人口動態、今後の大きなメガトレンドには変化はないと考えております。

今後の運用方針については、先進国の資産配分を米国と欧州を半々くらいの割合に微調整するとともに、金ETFの割合を現状の1.7%程度から買い増しすることを検討しております。

引き続き、世界経済の成長の恩恵を享受すべく、景気動向にあまり左右されずに持続的に安定的に利益成長していける質の高いビジネスを展開している企業を厳選している投資先ファンドに国際分散投資することにより、相場下落局面でのダウンサイドリスクを抑えながら長期で安定的な運用パフォーマンスを目指して参ります。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

現在、全国で【第15期ありがとうファンド半期運用報告会】を開催しておりますが、その中で平成30年間の振り返りとともに、今後の見通しの中ではテクノロジーサービスとしてのクラウド(SaaS、IaaS、PaaS)サービスの紹介やビジネスモデルとしてのフリーミアムモデル、サブスクリプションモデル等について投資先の米国株銘柄を題材として紹介させて頂いております。(詳しくは、弊社ファンドマネージャーの真木が[ありがとうブログ](#)の中でそれぞれについて詳しく紹介しておりますのでご覧頂ければ幸いです)

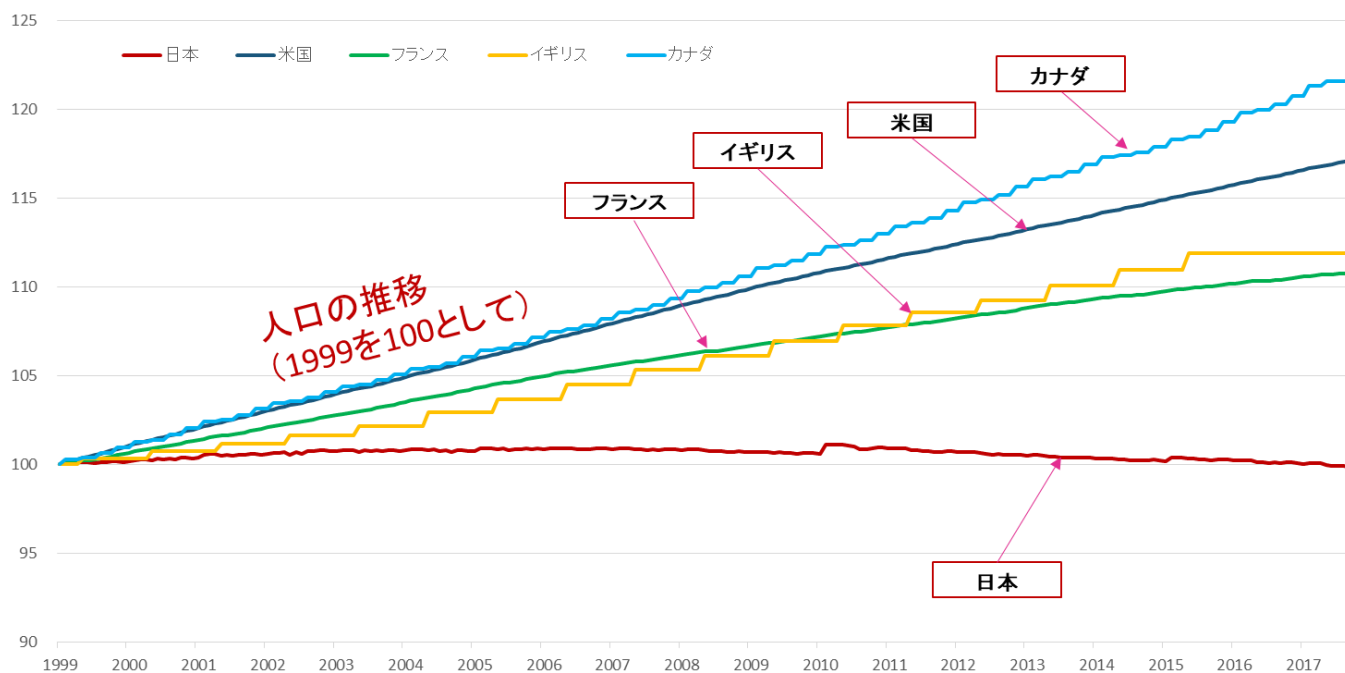
バブル崩壊からの平成という30年間は日本にとっては物質的には豊かではあるけれども、日々の生活実感はそれほど良くはならず、世界の大きな成長トレンドからは置いていかれた時代であったのではないかと感じます。

また、グローバル化による製造業の新興国シフト、バブルの後遺症、デフレ経済、財政赤字拡大、人口減少と少子高齢化の加速などの課題に苦しめられた時代でもあります。



出所:ファクトセットより、ありがとう投信作成。各株価指数は1989年(平成元年)1月6日終値を100として指数化、2019年1月8日までの推移。すべて円ベース。

昭和の戦後焼け野原から高度経済成長を果たしバブル経済に突き進んだ成長ステージから平成は成熟ステージに入り、よく言えば社会インフラは整備されて、必要なものがすぐに手に入る豊かで十分満たされて不自由しない、悪く言えば、昭和のがむしゃらなハングリー精神を失い、バブルの後始末に時間とお金を費やして経済は疲弊し、停滞・低成長で、株式市場も低迷し世界の成長についていけなかった30年間と言えるかもしれません。



出所:ファクトセット、1999年を100とした人口の推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

日本がそうこうしているうちに、世界の新興国は日本に追いつけ追い越せという勢いでリープフロッグによってどんどん進歩し、成長してきました。また、グローバル化とインターネットの普及によるITの進歩は日進月歩で目覚ましく、GAFAMに代表される新しいテクノロジーを利用したビジネスモデルの企業が世界を席巻している現状があります。残念ながらその中に日本企業はなく、テクノロジーの覇権争いは米中二大大国の争いとなっています。

一方で出口の見えない金融緩和と財政赤字が続き、日本国債務GDP比世界No.1の不名誉な称号を頂いている日本という国の現状を考えれば、これが今の立ち位置なのかもしれません。個々の企業レベルではグローバル市場で世界シェアNo.1の商品や製品を開発している会社なども少なくないだけに残念に思います。今後の日本について厳しい現状を総悲観する必要はありませんが、楽観できる状況ではないことは確かです。5月から新しい元号である「令和」がスタートしますが、新たな気持ちで課題先進国としての自覚を持って困難に立ち向かっていく必要があると考えます。

そのような中、皆さまの資産運用については、一生継続していくものなので中長期的な視点で物事を考えていく必要があります。長期で資産運用していく過程の中では、景気拡大や景気後退のサイクルを何度も繰り返し経験していくことになります。景気後退局面も訪れますが、長期で見れば、世界経済は世界の人口増加による生産・消費増加やイノベーションによって今後も成長が継続していく見込みですので、資産運用を継続していくことが大切です。

また、このような景気変動による価格の上下動があることによってドル・コスト平均法である定期積立投資も時間分散効果を発揮することができます。日本の投資信託の平均保有期間が2~3年である現状は、相場が良い時に勧められて始めて、相場が悪くなったら止めることを繰り返してきていると結果だとも考えられます。これでは、結果的に高いところで買って安くなってきたら売ることになり、長期的に資産形成していくことは難しいでしょう。基準価額が安くなってきたところで止めずに続けることが資産運用においてとても大切であると考えます。

弊社はこれからもお客様の資産運用を一生サポートしていけるように、役職員一同、力を合わせて精進して参りますので、今後ともありがとう投信を何卒よろしくごお願い申し上げます。



## 積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,079円	-1.11%
3年	17,053円	4.85%
5年	16,126円	10.87%
初回(2004年10月)から	11,287円	58.40%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、14年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのがわかるかと思います。

2019年3月29日現在(基準価額:17,879円)

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

## セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月6日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	4月10日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月13日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月14日 (日)	名古屋	9:30～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	4月16日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	4月18日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月20日 (土)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	4月24日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	5月8日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	5月9日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
はじめての資産運用入門セミナー ～ありがとう投信の資産運用サービス紹介～	5月11日 (土)	東京	10:00～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	5月15日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	5月16日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	5月22日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	5月23日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	5月29日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	5月30日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 【ありがとう投信からのお知らせ】

### 🌸 10 連休前後の営業時間のお知らせ

2019年5月1日の新天皇即位に伴い、2019年5月1日に改元、同日を祝日とし4月27日(土)～5月6日(月)において10連休となります。

10連休前後の営業時間および注文申込受付時間につきまして、下記の通りとなります。

尚、注文申込受付時間以降のお申込みにつきましては、翌営業日以降の受付扱いとなります。

また、「マイページ WEB システム」は、10連休中もご利用いただけます。

	営業日	営業時間	注文申込受付時間
連休前の営業最終日	4月26日(金)	8:30～17:30	8:30～15:00
連休後の営業開始日	5月7日(火)		

### 🌸 4 月中に受渡を完了する最終注文日についてのお知らせ

4月中の受渡完了を希望されるお客さまの最終注文日につきましては、下記の通りとなります。

尚、注文の締切時間は15時となります。15時を過ぎますと翌営業日以降の注文となりますのでご注意ください。

※4月19日(金)および4月22日(月)が売買申込不可日のため、4月18日(木)の15時以降の注文につきましては、4月23日(火)の受付となります。

注文区分	受付日	約定日	受渡日
購入	4月23日(火)	4月25日(木)	4月26日(金)
換金	4月18日(木)	4月22日(月)	4月25日(木)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 2019年 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
4月分	受付終了	受付終了	4月8日(月)	4月18日(木)
5月分	受付終了	4月17日(水)	5月7日(火)	5月17日(金)
6月分	4月25日(木)	5月27日(月)	6月6日(木)	6月18日(火)
7月分	6月5日(水)	6月26日(水)	7月8日(月)	7月19日(金)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

4月	19日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	22日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルクの銀行休業日
5月	9日(木)	ヨーロッパの日	ルクセンブルクの銀行休業日
	27日(月)	戦没者記念日	ニューヨーク証券取引所休業日
	30日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルクの銀行休業日
6月	10日(月)	聖霊降臨祭	ルクセンブルクの銀行休業日



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.972%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

### ■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。